

明るい子 かしい子 たくましい子

元気がある 夢がある 楽しい学校 中央小



中央小だより

令和6年度7月夏休み号

蕨市中央6-8-25

TEL 442-2672

児童数	(名)
計	385

日本の夏の風物詩～夏を味わう～

校長 はらだ 原田 たくじ 卓治

今年度は、7月20日～8月28日の間、長い夏休みに入ります。

子供たちには、夏休みならではの、学校教育では味わえない、貴重な体験をしてもらえればと思っています。

さて、私が子供の頃の夏の風物詩を思い返すと様々な光景が思い出されます。

まず、今では全くといっていいほど見かけなくなった「蚊帳(かや)」です。私は3人兄妹でしたので、子供の頃は蚊に刺されないように「蚊帳」の中に入り、3人で寝ていたものです。その時には必ず「蚊取り線香」が焚かれ、あの独特の香りと共に眠りにつきました。

あと近所の人々もやっていたのが、夕方近くになって行く「打ち水」。地熱を水が奪って上空に熱をもっていくくれるので、地面はとても涼しく感じました。また、路地には「縁台」がおかれ、近所の大人達が「うちわ」をもちながら、談笑していました。

また、窓際には「簾(すだれ)」がかけられ、直射日光が家に入るのを防いでいました。

そして、軒先には風鈴がかけられ、様々な音色が響き、音でも涼しさを演出していました。

あと、私の父が「鈴虫」の飼育が得意で、いくつもの鉢に鈴虫を飼育しており、夏の盛りには昼夜問わず、さかんに鳴いていました。「鈴虫」は数匹だととても心地よいのですが、あれだけたくさん「鈴虫」に鳴かれると、眠りにつくにも支障があります。けれども、毎日そのような環境でいると、そんな中でも眠れるようになりました。

地域では、蕨同様子ども会活動が盛んでしたので、地域の子供用提灯山笠(町会によって、山車が異なり、人形を飾った山笠等も多い。)を引いたり、保護者つきそいのもと、子供たちで海水浴に行ったりしました。そこで、スイカ割りをしてみんなで食べましたが、とてもおいしかったことを記憶しています。

最近この蕨市でも「クマゼミ」の鳴き声が聞かれますが、私の出身地の北九州では「ミンミンゼミ」はいません。けれども、この「クマゼミ」は大量に発生していて、とにかくその声がうるさく、暑さが倍増してしまいます。私に関東に越してきたのは、小学校4年生の頃でしたが、その頃関東地方で「クマゼミ」の声を聴くことはありませんでした。しかし、ここ数年前からこの「クマゼミ」の鳴き声がよく聞かれるようになりました。これも夏の象徴する風物詩の一つといえるかも知れません。

皆さんは、夏の風物詩として挙げるとしたら、どんなものが挙げられますか？

皆さん一人ひとりの風物詩を是非味わってみてください。

蝉脱皮動画(令和4年度に公開済)

風鈴動画(最初は小田原風鈴・次が南部風鈴)

(別途通信費がかかります。)

